

「いこま空き家流通促進プラットフォーム」のコンサルティング力向上と機能拡大(奈良県生駒市)

課題と目的	プラットフォームのコンサルティング力をさらに高め、かつ、空き家希望者の受け皿的機能も備えることにより、自立性・持続性を向上させる。所有者がより相談しやすく、事業者がより動きやすくなるよう、市の広報的支援を強化する。
取組内容	①参画事業者のスキルアップ ②業種間連携の強化 ③プラットフォームの認知度・信頼度・自立度の向上 ④ブランド化を意識した、進化版プラットフォームのパンフレット等の作成・周知 ⑤空き家希望者の受け皿を兼ねる仕組みへ進化
成果	①先進事例視察開催 ②設立後1年半で見えてきた課題の共有と解決策の検討 ③所有者への広報活動、グループウェアの試行(情報共有・効率化) ④各種パンフレットの作成 ⑤空き家利活用希望者支援の仕組みの検討・試行

①参画事業者のスキルアップ

●リノベーション事例の視察

視察先: 大阪市中央区(みんなの不動産)
 講師: 末村 巧氏(合資会社マツシティ代表社員)
 他 不動産オーナー2名



②業種間連携の強化

●アンケートの実施による課題の共有と解決策の検討

アンケートにより共有された主な課題	解決策
・支援状況を共有するためのツールが必要	●グループウェアの試行
・参画していない事業者との連携の是非	●連携OK(原則事業者を縛らない)
・効率的な事務局運営及び財源確保	●自主運営の方法検討開始

③プラットフォームの認知度・信頼度・自立度の向上

●所有者への広報活動

・空き家セミナーの開催
 ・郵便局へのパンフレットの掲示・配架
 ・空き家所有者向けパンフレットの作成

●グループウェアの試行

・情報共有の仕組みの試験的構築
 ・関係者のやりとりの一元化による事務作業の効率化検討

④ブランド化を意識した、パンフレット等の作成・周知

- 空き家所有者向け
- 市内及びプラットフォーム参画事業者向け
- 空き家利活用希望者向け

⑤空き家利活用希望者の受け皿を兼ねる仕組みへ進化

- 利活用希望者支援のコンセプト作成
- 利活用希望者支援の仕組みの検討・試行

